



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下内 徹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200
四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	24,582	8.0	159	△22.5	90	△40.2	19	△61.3
2024年2月期第1四半期	22,754	△5.1	206	13.9	152	7.9	50	△62.4

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 44百万円 (0.4%) 2024年2月期第1四半期 44百万円 (△66.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	0.85	—
2024年2月期第1四半期	2.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第1四半期	72,873	25,368	34.8	1,104.40
2024年2月期	65,003	25,784	39.7	1,122.47

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 25,368百万円 2024年2月期 25,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	50,800	10.9	900	241.5	800	386.7	350	117.3	15.24
通期	104,000	14.4	2,000	950.1	1,800	—	800	—	34.83

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	23,354,223株	2024年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	383,501株	2024年2月期	383,501株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	22,970,722株	2024年2月期1Q	22,970,722株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年5月31日)におけるわが国経済は、急激な円安や資源高により物価の上昇基調は鮮明であり、先行き一段の物価上昇圧力が強まるとともに、給与の上昇が大手企業に限られていることから、本格的な景気回復及び消費喚起についてはいまだ不透明な状況であります。

小売業におきましては、インバウンド需要の増加や富裕層による高額商品の消費の伸びは大きいものの個人消費は依然として低調に推移しております。また、エネルギーコストの高止まりや食料品及び消費財の値上げが続いたことから実質賃金の減少が続いており、節約志向や選別消費の動きが強まっていることが個人消費回復の足かせになっていると考えられ、異業種・異業態との競合・価格競争が一層加速していることもあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは一層の経営効率の改善と次なる成長への基盤確立を目指し、以下の施策を実施してまいりました。

食品分野におきましては、当社ならではの価値観と独自性のある商品を提供することにより店舗の魅力を高め、店舗規模に応じた商品構成への転換を進めながら作業効率の改善を図っております。

また、2024年3月に東京都で食品スーパー7店舗の展開及び学校給食を中心とした食材の卸売をしている㈱三浦屋の全株式を取得し連結子会社といたしました。

ディスカウント分野におきましては、日用必需品を中心とした品揃えにより、季節や地域のお客様のニーズの変化に対応して商品構成の見直しを伴う改装を行うなど、既存店舗の集客力の向上に努め、コスト削減や在庫管理の適正化により経営効率の改善を進めております。

専門店分野におきましては、ペット専門会社の㈱ユアペティアでは、動物病院を経営する㈱動物総合医療センターと連携した総合サービスのペットショップとして、ご来店いただいたお客様に高いご満足を提供できるよう、㈱ユアペティア・サロンにトリミング・ペットホテル事業を移管し、機能と役割を明確にすることでサービスの向上に努めております。

DIY・ガーデニング専門会社の㈱おうちDEPOでは、職人さんにとって便利な店をコンセプトとし、プロのお客様のきめ細かい需要に応じてまいりました。また、エアコンの取り付け・クリーニングに加えて、電気・ガス・水廻りなどの住宅設備機器の販売と設置を専門に行う㈱OSCホームファシリティにおいて、「お客様のお困りごと解決」をコンセプトとした「住まサポ」の展開を拡大しております。

自転車販売会社の㈱サイクルオリンピックでは、独自商品の店舗渡しを基本としたECサイトを開設して販売チャネルを拡大するとともに、電動アシスト自転車のリユース事業、バッテリーの盗難補償など、新たなサービスを導入してまいりました。また自転車企画製造会社の㈱OSCサイクルでは、独自商品である「FREE POWER」の新車種開発とコストの最適化に取り組んでおります。

これらの方針に基づきながら、2024年4月に既存店である食品スーパーマーケット「カズン関原店」(東京都足立区)を新たに「Olympic関原店」としてリニューアルし、新規出店につきましても2024年6月には食品スーパーマーケット「Olympic朝霞泉水店」(埼玉県朝霞市)を開店させるなど、業容の拡大に向けて積極的な営業活動を行っております。

管理面では、前年に続き高い水準の賃上げを実施したうえでグループ全体を通じた店舗運営における作業改善による業務の効率化を進め、コスト上昇等を見据えて費用対効果を検討しながら徹底した経費の削減に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は245億82百万円(前年同四半期比8.0%増)となりましたが、子会社株式の取得に係る付随費用を一括費用計上したこともあり、営業利益は1億59百万円(前年同四半期比22.5%減)、経常利益は90百万円(前年同四半期比40.2%減)となり、投資株式の保有意義や経済的合理性を検証しつつ売却を進めるという方針に基づき投資有価証券売却益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は19百万円(前年同四半期比61.3%減)となりました。

また、EBITDA(営業利益+減価償却費及びのれん償却費)は6億92百万円(前期は7億3百万円)でありました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ78億69百万円増加し、728億73百万円となりました。これは主に現金及び預金、商品、のれんの増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ82億85百万円増加し、475億4百万円となりました。これは主に買掛金、借入金、リース債務の増加などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億15百万円減少し、253億68百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、2024年4月12日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,955	5,404
売掛金	1,458	2,333
商品	10,372	11,921
その他	1,554	1,651
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	16,340	21,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,565	12,704
土地	14,820	14,820
その他（純額）	2,280	2,527
有形固定資産合計	29,666	30,052
無形固定資産		
のれん	379	1,903
その他	1,149	1,323
無形固定資産合計	1,528	3,226
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,052	14,205
その他	3,414	4,077
投資その他の資産合計	17,467	18,282
固定資産合計	48,662	51,562
資産合計	65,003	72,873
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,874	9,522
短期借入金	17,097	16,707
未払法人税等	165	136
賞与引当金	254	494
その他	2,686	3,295
流動負債合計	27,078	30,157
固定負債		
社債	52	36
長期借入金	10,061	13,959
退職給付に係る負債	20	21
資産除去債務	893	957
その他	1,113	2,373
固定負債合計	12,140	17,347
負債合計	39,219	47,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	5,971	5,531
自己株式	△293	△293
株主資本合計	25,454	25,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329	354
その他の包括利益累計額合計	329	354
純資産合計	25,784	25,368
負債純資産合計	65,003	72,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	21,146	22,657
売上原価	14,033	15,116
売上総利益	7,113	7,541
営業収入	1,608	1,924
営業総利益	8,721	9,466
販売費及び一般管理費	8,515	9,306
営業利益	206	159
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	1	0
その他	10	12
営業外収益合計	17	17
営業外費用		
支払利息	70	83
その他	1	3
営業外費用合計	71	86
経常利益	152	90
特別利益		
固定資産売却益	—	5
投資有価証券売却益	—	65
特別利益合計	—	70
特別損失		
固定資産除却損	23	30
賃貸借契約解約損	17	—
特別損失合計	40	30
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	111	130
匿名組合損益分配額	△23	6
税金等調整前四半期純利益	135	123
法人税、住民税及び事業税	65	105
法人税等調整額	19	△1
法人税等合計	84	104
四半期純利益	50	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	50	19

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	50	19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	24
その他の包括利益合計	△6	24
四半期包括利益	44	44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44	44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。